

2020 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科  | 臨床工学技士科(昼間部)  |                 | 科 目 区 分   | 専門基礎分野        | 授業の方法                   | 講義演習          |
|--|---------------|-----------------|---|---------------|-------------------------|---------------|
| 科 目 名  | 臨床検査総論        |                 | 必修/選択の別   | 必修            | 授業時数(単位数)               | 30 (1) 時間(単位) |
| 対 象 学 年  | 2年次           |                 | 学期及び曜時限   | 後期            | 教室名                     |               |
| 担 当 教 員  | 井垣 歩<br>狩野 春艶 | 実務経験と<br>その関連資格 | 兵庫医科大学病院等の医療機関において臨床検査実務経験30年以上。認定心電検査技師、認定専門技師(脳波、神経電動検査)など取得。(井垣 歩) |               |                         |               |
| <p>《授業科目における学習内容》</p> <p>臨床検査の意義や目的を理解し、検査データの解釈ができるため、検査の流れや医療事故防止のための重要事項と各検査項目の目的・測定手技・基準範囲の背景など、幅広い知識を学ぶ。</p>  |               |                 |   |               |                         |               |
| <p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>筆記試験評価、出席評価点、平常評価点</p>  |               |                 |   |               |                         |               |
| <p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>系統看護学講座 別巻 臨床検査<br/>編集:大久保昭行<br/>発行者:株式会社 医学書院</p>                                     |               |                 |   |               |                         |               |
| <p>《授業外における学習方法》</p> <p>特になし</p>   |               |                 |   |               |                         |               |
| <p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>臨床工学技士がその職務や、チーム医療の一員として患者にかかわるとき、臨床検査の一般的知識・学識が必要になると思われる。<br/>そこで、本講義がその一助になれば幸いである。</p> |               |                 |   |               |                         |               |
| 授業の方法  | 内 容           |                 |   | 使用教材          | 授業以外での準備学習の具体的な内容       |               |
| 第1回  | 講義演習形式        | 授業を通じての到達目標     | 臨床検査の目的、役割、種類、結果の解釈について説明することができる。                                    | 教科書<br>配布プリント | 教科書の目次を確認し、学ぶ項目を把握しておく。 |               |
|  |               | 各コマにおける授業予定     | 診療における臨床検査の役割、臨床検査の目的、種類と結果の解釈について説明する。                               |               |                         |               |
| 第2回  | 講義演習形式        | 授業を通じての到達目標     | 臨床検査の全体的な流れについて理解し、検体採取から検査の実態、検査結果の取り扱いについて説明することができる。               | 教科書<br>配布プリント | 講義分野について教科書を事前に読んでおく。   |               |
|  |               | 各コマにおける授業予定     | 臨床検査の流れについて、検査検体の採取、保存、移送における留意点などを交えて説明する。                           |               |                         |               |
| 第3回  | 講義演習形式        | 授業を通じての到達目標     | 一般検査(尿・便検査)の意義、検査方法、基準値などを学び、関係臓器の異常を説明することができる。                      | 教科書<br>配布プリント | 講義分野について教科書を事前に読んでおく。   |               |
|  |               | 各コマにおける授業予定     | 一般検査<br>腎臓の働きと尿の生成および尿・便・滞空ない貯留液・脳脊髄液・間接液・消化液の検査                      |               |                         |               |
| 第4回  | 講義演習形式        | 授業を通じての到達目標     | 血液検査の意義、検査方法、基準値などを学び、関係臓器の異常を説明することができる。                             | 教科書<br>配布プリント | 講義分野について教科書を事前に読んでおく。   |               |
|  |               | 各コマにおける授業予定     | 血液検査<br>赤血球沈降速度、血液検査(血液の成分、赤血球・白血球・血小板の検査)、止血・凝固検査など                  |               |                         |               |
| 第5回  | 講義演習形式        | 授業を通じての到達目標     | 化学検査(血清蛋白質、血清酵素、糖代謝、脂質代謝)の意義、検査方法、基準値などを学び、関係臓器の異常を説明することができる。        | 教科書<br>配布プリント | 講義分野について教科書を事前に読んでおく。   |               |
|  |               | 各コマにおける授業予定     | 化学検査<br>血清蛋白質、血清酵素、糖代謝、脂質代謝   |               |                         |               |

| 授業の方法 | 内 容         |  | 使用教材          | 授業以外での準備学習の具体的な内容                 |
|-------|-------------|--|---------------|-----------------------------------|
| 第6回   | 授業を通じての到達目標 | 化学検査(胆汁、窒素化合物、骨代謝など)の意義、検査方法、基準値などを学び、関係臓器の異常を説明することができる。      | 教科書<br>配布プリント | 講義分野について教科書を事前に読んでおく。             |
|       | 各コマにおける授業予定 | 化学検査<br>胆汁排泄関連物質、窒素化合物、骨代謝、腎機能、電解質検査、血液ガス分析など                  |               |                                   |
| 第7回   | 授業を通じての到達目標 | 免疫血清学検査の意義、検査方法、基準値などを学び、関係臓器の異常を説明することができる。                   | 教科書<br>配布プリント | 講義分野について教科書を事前に読んでおく。             |
|       | 各コマにおける授業予定 | 免疫血清学検査<br>炎症マーカー検査、液性免疫の検査、細胞性免疫検査、自己抗体検査、輸血検査など              |               |                                   |
| 第8回   | 授業を通じての到達目標 | 内分泌学検査(下垂体ホルモン、甲状腺ホルモン)の意義、検査方法、基準値などを学び、関係臓器の異常を説明することができる。   | 教科書<br>配布プリント | 講義分野について教科書を事前に読んでおく。             |
|       | 各コマにおける授業予定 | 内分泌学検査<br>下垂体前葉ホルモン検査、下垂体後葉ホルモン検査、腺ホルモン検査                      |               |                                   |
| 第9回   | 授業を通じての到達目標 | 内分泌学検査(副甲状腺ホルモン、性腺ホルモンなど)の意義、検査方法、基準値などを学び、関係臓器の異常を説明することができる。 | 教科書<br>配布プリント | 講義分野について教科書を事前に読んでおく。             |
|       | 各コマにおける授業予定 | 内分泌学検査<br>副甲状腺ホルモン、性腺ホルモン、膵臓ホルモンなど                             |               |                                   |
| 第10回  | 授業を通じての到達目標 | 感染症の診断と検査の意義、検査方法、基準値などを学び、関係臓器の異常を説明することができる。                 | 教科書<br>配布プリント | 講義分野について教科書を事前に読んでおく。             |
|       | 各コマにおける授業予定 | 微生物学検査<br>感染症の診断と各感染症の検査                                       |               |                                   |
| 第11回  | 授業を通じての到達目標 | 各種病原体の特性を学び、検査方法、薬物感受性について説明することができる。                          | 教科書<br>配布プリント | 講義分野について教科書を事前に読んでおく。             |
|       | 各コマにおける授業予定 | 微生物学検査<br>各種病原体と検査   |               |                                   |
| 第12回  | 授業を通じての到達目標 | 病理検査の意義、検査方法などを学び、関係組織の異常を説明することができる。                          | 教科書<br>配布プリント | 講義分野について教科書を事前に読んでおく。             |
|       | 各コマにおける授業予定 | 病理検査<br>細胞診検査、病理組織検査   |               |                                   |
| 第13回  | 授業を通じての到達目標 | 生理機能検査の意義、検査方法、基準値などを学び、関係臓器の異常を説明することができる。                    | 教科書<br>配布プリント | 講義分野について教科書を事前に読んでおく。             |
|       | 各コマにおける授業予定 | 生体検査<br>生理機能検査(循環機能、呼吸機能検査)                                    |               |                                   |
| 第14回  | 授業を通じての到達目標 | 生体検査(神経機能検査、画像検査の意義、検査方法、基準値などを学び、関係臓器の異常を説明することができる。          | 教科書<br>配布プリント | 講義分野について教科書を事前に読んでおく。             |
|       | 各コマにおける授業予定 | 生体検査<br>生理機能検査(神経機能検査)、画像検査(超音波検査、サーモグラフィ)、内視鏡検査               |               |                                   |
| 第15回  | 授業を通じての到達目標 | 臨床検査総論の重要項目について説明することができる。                                     | 教科書<br>配布プリント | これまでの講義内容に関し、ノートやプリント、教科書を見直しておく。 |
|       | 各コマにおける授業予定 | これまでの総復習   |               |                                   |